

【審判確認事項】

1. 服装

- 1) ショートパンツまたは水着を着用する。シャツは自由。帽子はかぶってもよい。
- 2) 選手は主審の許可がない限り、「はだし」で競技しなければならない。
- 3) 選手は靴下または靴を履いて競技する場合、主審の許可が必要。
- 4) 負傷の恐れのあるような装身具の着用(宝石、ピン、ブレスレットなど)は認めない。
- 5) 選手は「1」～「4」の番号を腕に書く。ただし、ジャージなどにナンバーをつけることも可能。

2. 試合形式

- 1) 10点×**2セット**マッチのラリーポイント制。デュースなし。(10点先取)
- 2) **1試合2セットとし、勝敗が決しない場合、得失点差で勝敗を決する。同店の場合は抽選とする。**

3. 競技に関すること

1) トス

- ① 主審は両チームのキャプテン立会いの下にトスを行い、トスに勝ったチームのキャプテンが、「サービス権」か「コート」を選択する。
- ② 第2セットは、第1セットのトスに負けたチームからサービスを行う。

2) ウォームアップ

それぞれ最初の試合のみ試合コートでネットを使って3分間の合同練習をする。

3) タイムアウト

1セット2回以内。一回につき30秒とし、監督またはキャプテンが要求する。

4) 選手交替

選手交替は、1セット4回4名以内。一度交替した選手はそのセットのコートに戻れない。

5) コートチェンジ

- ① 各セット中、両チームの得点合計が5の倍数になるたびにコートを交替する。
(3-2、6-4、8-7 など)
- ② 各セットの終了時にはコートを交替する。
- ③ 各セット間の中断は2分間とする。

6) ボールイン

ラインを含むコートの地面にふれたとき。

7) ボールアウト

- ① ラインに触れずにコートの外側に落ちたとき。
- ② コート外(選手以外)の人に触れたとき。
- ③ アンテナ、支柱、アンテナ外側のネット、ロープに触れたとき。

8) ボールへの接触

- ① チームはネット越しにボールを返球するまで、3回プレーすることができる。
- ② ブロックを除き、一人で連続して2回プレーすることはできない。
- ③ 同一チームの選手が、同時にボールに触れた場合、2回触れたものとみなされるが、続けてプレーすることができる。
- ④ 多少のホールディングは反則にはならない。手のひらを上にしてボールをすくうようなレシーブでも反則とはみなさず続けてプレーすることができる。
- ⑤ ボールは体のどの部分に触れてもプレーして良いが、明らかにそのボールの動きが停止するようなプレーは反則になる。
- ⑥ オーバーハンドパスでのサーブレシーブや強打をオーバーハンドパスで受けることは反則ではない。

一瞬ボールが指の中で停止しても反則にしない。

指先がばらつくと反則になる。(ダブルコンタクト)

9) ネット際でのプレー

- ① ボールがネットに触れた場合、もう1回触れることができる。
- ② ネット越しでの両チームのブロックの押し合いは、1回のプレーに数えない。
(2人の間にボールが止まったときでも反則とはならず、プレーを続けることができる)
- ③ ボールがネット垂直面を通過して、相手方コートのフリーゾーンに入った場合、相手方フリーゾーンからネット垂直面を通過させて、再度自コートへ取り戻すことができる。
相手方チームは、この動作を妨害してはならない。
- ④ 選手がプレーするために、ボールがネット下の空間を完全に通過する前ならば、相手コート内及びフリーゾーンへ侵入してもよい。
- ⑤ 選手がボールをプレーした後は、それに続くプレーに影響がなければ、支柱やロープ、あるいはネット外側の物体に触れてもよい。
- ⑥ 偶然に髪の毛がネット及びアンテナに触れることは反則ではない。

10) サービス

- ① サービス順は提出したサービスオーダー順とする。順番を間違えると反則となり、相手チームにサービス権が移行する。(2セット目も、一人目からサービスする)
- ② サービス回数は1回。
- ③ トスしたボールを打たなかった場合、自チームの選手に触れた場合、アンテナ内を通過しなかった場合、相手コートに入らなかった場合はサービスの反則となる。
サービスのネットインは相手チームに得点が入る。

11) アタック・ヒット

- ① サービスを除き、相手方に向かってボールを送るすべての動作は、アタック・ヒットとみなされる。
- ② 指の腹を使ったフェイントやタッチプレーは反則となる。
- ③ 相手方のサービスボールが、ネット上端より完全に高い位置にある場合に、アタック・ヒットをしたときは反則となる。
- ④ オーバーハンドパスでボールを相手コートに返す場合、両肩に直角である方向でなければならない。両肩に直角でない方向へ返した場合は反則となる。

12) ブロック

- ① ブロックタッチは1回のプレーとみなす。残り2回で相手コートに返球しなければならない。
- ② ブロックタッチした選手は、連続してそのボールに接触することができる。
- ③ オーバーネットしてブロックした場合、相手方のサービスをブロックした場合は反則となる。